

鳩森だより

HATOMORI ELEMENTARY SCHOOL

TEL

(3352)3780

FAX

(3352)4810

ホームページ

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1310246>

【教育目標】
感じ かかわり つくる

5月号

渋谷区立鳩森小学校
令和8年4月30日



「こどもの日は…実は」

校長

4月30日(木)の全校朝会で5月5日の「こどもの日」の話をしました。

こどもの日でイメージするのは、「かぶと」「しょうぶ湯」「こいのぼり」かなあとということで、この3つのお話をしました。

昔の5月は今の6月くらい、梅雨が始まる時期です。昔のお侍さん、武士たちは梅雨の前にかぶとを干してかびないようにしたそうです。かぶとは身を守る道具ですから、子どもたちが安全に身を守ってくれますようにという願いがあるのでしょう。



つぎはしょうぶです。しょうぶというと紫のきれいな花が思い浮かびますがこれはアヤメ科で、(渋谷区の花は花しょうぶですね。)しょうぶ湯のしょうぶはサトイモ科で種類が違うそうです。昔から、香りが強く玄関先に飾って魔除けとしたり、病気になるないようにお風呂に入れたりしていたそうです。

そして5月、こどもの日というこいのぼりを想像する方も多いと思われます。

このこいのぼり、昔は赤と黒の2色だったそうです。黒はお父さん、赤は子どもたちなんだそうです。お母さんが出てきません。この日はこれから来る梅雨の時期に雨がたくさん降ってお米がたくさん取れるようにと女性が家にこもって神様にお祈りをした日とも言われています。でも実は、日頃たくさんお仕事をしているお母さんが家でゆっくり、ゆったりとお食事をして楽しい時間を過ごす日とも言われています。ですから、こいのぼりには男の黒とこどもの赤しか泳がないのだそうです。その後、黒・赤・青…とさまざまなこいのぼりが登場して家族を表す感じになってきました。

さて、ではなぜこどもの日にこいのぼりなのでしょう。

中国の古い伝説の話では、黄河という大きな川の上流に竜門という大きな滝があったそうです。そこにはたくさんの鯉が集まっていてその滝を鯉が登れると竜になれるという伝説がありました。子どもたちが困難に打ち勝って立派な大人になれるようにという願いと、鯉が滝に登って強い竜になることを結び付けたのでしょう。もともとは端午の節句と言って男の子の成長を祝う日と言われていましたが、実はお母さんにゆっくりしてもらおう日でもあるわけです。

さて、5月5日のこどもの日に戻りましょう。日本の祝日は「国民の祝日に関する法律(祝日法)」で決められています。5月5日のこどもの日も法律で祝日となっています。

祝日になった意味は、「子どもの人格を重んじ、子どもの幸福をはかるとともに、母に感謝する日」だそうです。昔のお話につながります。

子どもたちが元気に育っていけますようにとお祝いするとともに、お母さんや家族のみんなに感謝する日でもあるのですね。

